



THE 市町支援通信

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～



子ども心身発達医療センターは、途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援をめざし、子ども心身発達医療センターは多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ①発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
- ②「CLM（チェック・リスト・in 三重）と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援

*「CLMと個別の指導計画」は、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです。

- ③みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

「5歳児健診」と「CLM」

三重県医師会理事／三重県小児科医会会長

のむら小児科 院長 野村豊樹

三重県医師会と三重県小児科医会は、保育所・幼稚園生活で困っている子どもたちやその保育者に対して、園医健診を糸口にして日常保育の中で支援を行うことを目標に、平成20年度より5歳児健診事業を開始しました。このような子どもたちには3歳児健診で問題が発見できなかった気になる子、なんとなく気になる子、3歳児健診での問題を保護者が了解できなかった気になる子など様々です。新たに5歳児を対象に評価し、就学までの1年間に保育所・幼稚園での適切な支援、療育、及び保護者との情報共有に繋ぐことで、いわゆる発達凸凹を持つ子どもたちの生活満足度の改善に結びつくとの考えに基づきます。現在、紀北町・鈴鹿市・名張市の5歳児に悉皆実施、津市で悉皆実施を準備中です。



一方、CLMはあすなる学園が長い年月を掛けて日常業務としての事例検討（入院児や外来児を対象）で得られた治療計画立案や進捗管理の成果を蓄積し、その要素を保育所・幼稚園での支援に活用しているものと伺っています。具体的には保育所・幼稚園などにおける子どもの困り感を28項目からなる発達チェックリスト（CLM）を用いて保育士、保健師、及び教師らが確認し、その後の検討会議で個別の指導計画作成に繋げる。そして、作成した計画に沿って担任が中心となり主任・園長らの協力の下、保育所・幼稚園で支援が行われます。あすなる学園の至宝ではないでしょうか。

三重県は平成26年度に県少子化対策総合推進事業で、「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」を策定しました。この中で重点的な取組として「CLMと個別の指導計画を導入している保育所・幼稚園等の割合」を75%（平成31年度）に、一方、モニタリング指標として「5歳児健診を実施する市町数」を挙げました。即ち、平成22年度三重県医師会乳幼児保健講習会後の討議での懸念（両者の関係性は？）が解決されずに続いています。三重県が発達凸凹等により困っている子どもたちへの対応を充実するために、「5歳児健診」と「CLM」は相互の活動を理解・尊重し、保健・福祉・教育に協働し、互いが両輪となって今後の事業を進めることが不可欠ではないかと思えます。

県内の「途切れない発達支援」の状況報告

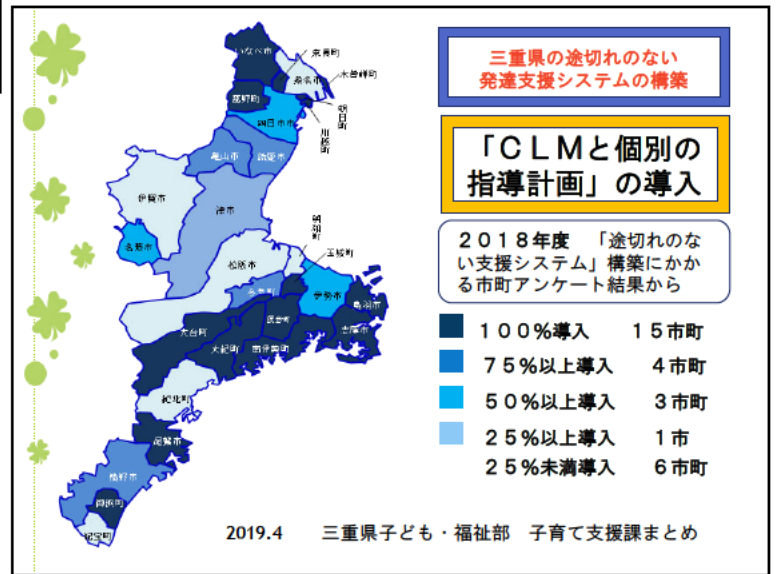
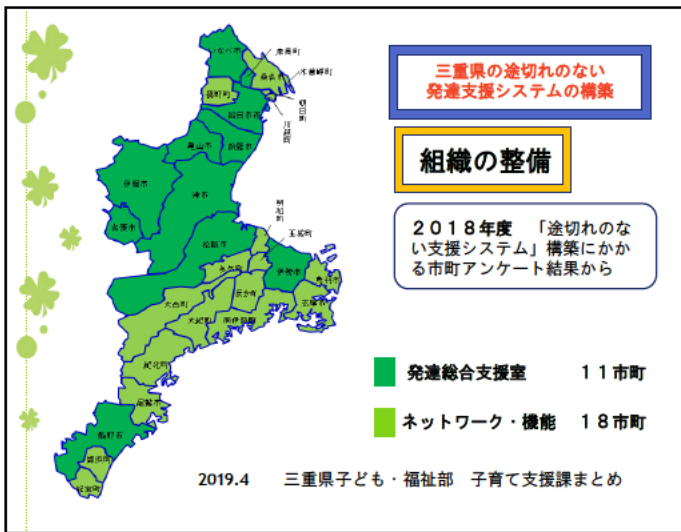
各市町に「途切れない発達支援システム」が広がっている状況を、三重県地図で表しました。

これは、県子ども・福祉部 子育て支援課 が、市町からの報告を基に2018年度末（2019年3月末）時点で作成したものです。

①組織の整備

子どもの発達支援の核となる「発達総合支援室」組織又は「ネットワーク・機能」が自治体に設置されているかを表しています。

「ネットワーク・機能」とは、「保健・福祉・教育」を一元化した組織が置かれていなくとも、各部署の担当者が定期的に集まり園の巡回指導やケース検討会等と一緒にを行う仕組みが作られていることを言います。



②「CLMと個別の指導計画」の導入

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」目標の一つとして、県全体で保育所・幼稚園等への「CLMと個別の指導計画」導入率が、2019年度に75%となることを掲げています。

2018年度末現在、導入率100%の市町が半数を超えています。園数の多い市での導入促進をお願いしています。（全体では53.8%でした。）

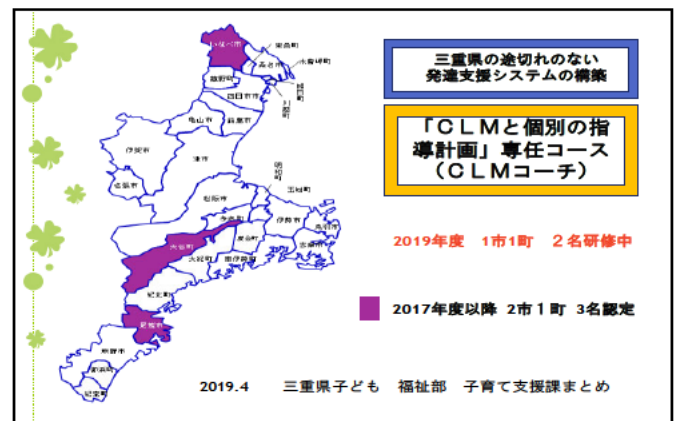
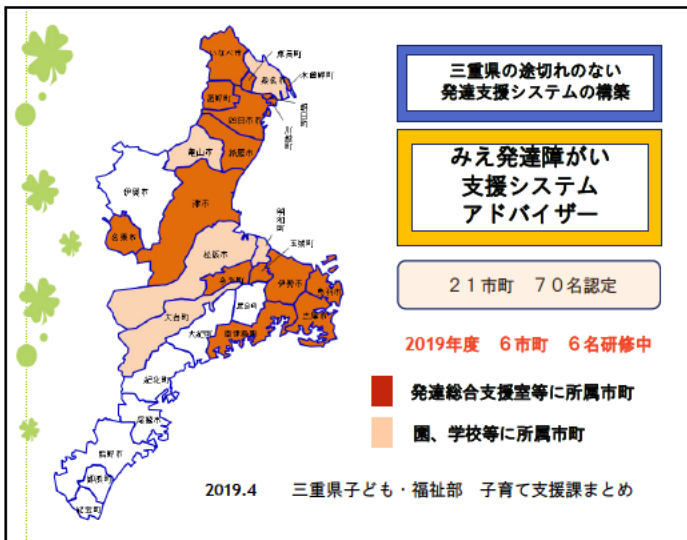
③みえ発達障がい支援システムアドバイザー

各市町の「発達総合支援室」等で、発達支援の核となって活動することが期待されています。

2019年度末で21市町の70名が認定され、今年度は6市町の6名が研修中です。

◎CLMコーチ

「CLMと個別の指導計画」導入促進のため、CLMコーチ研修を平成29年度に開始し、これまでに3市町3名を認定しました。今年度は2市町2名が研修中です。



「CLMと個別の指導計画」で

ワクワク！ 楽しい保育をご一緒に！！

クラスみんなで「はさみ名人」！

担任の願い 七夕飾りが作れるよう
になってほしいな…



Aくんの姿

- ・ブロックで乗り物を作るのが好き
- ・お箸の持ち方がぎこちなく、食べ物をよくこぼす
- ・ハサミの持ち方(右手)、紙の持ち方(左手)が定まらず、線通り切れない

クラスの様子

- ・年中児 15名
- ・明るく元気な子が多い
- ・ハサミの開閉が苦手な子が3~4名いる

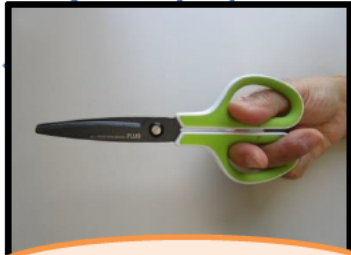
4点がつくCLM項目：(8)、(10)、(16)

名前：Aくん (4歳児)

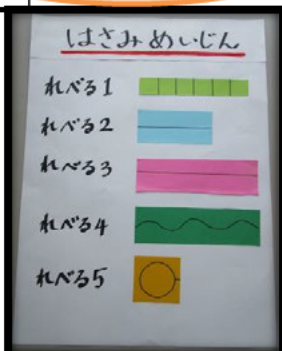
チェック項目 (16)ハサミ、鉛筆、箸などの操作がうまくできない
エピソード ハサミを使って紙を切る時、線通りに切れない

要因 ①ハサミの持ち方がわからない
②紙を持つ位置がわからない

目標 はさみ名人の時、担任と一緒に線通りに切ることができる

| 期間 | 具体的な指導方法 | | 結果・評価 | | |
|-------------------|---|---|---|------|---------------|
| | <クラス環境の整えとクラス全体の支援> | <個別の支援> | 月日 | ○× | 特記事項 |
| 6/10 ~ 6/21 | ・グループの机にハサミの持ち方の写真を置く。(例①) ・1回切りから曲線切りまで5種類の紙を用意する。(例②) |  例①ハサミの持ち方写真 | 6/10 | ○ | レベル1が「できた」と喜ぶ |
| 2W 10回 | (朝の会終了後 はさみ名人の時) ・グループごとにハサミの持ち方と紙を持つ位置の写真(例③)と見本を見せて説明する。 ・グループごとに紙を取りに行かせる。 ・最初は決められた2種類(レベル1、2)の紙を切らせる。 ・線通りに切れたら「線通りに切れたね」とほめる。 | | ・切る時は、担任が手を添えて一緒に持つ。 ・紙を持つ位置のずらし方を個別に伝える。 ・線通りに切れたら、「線通りに切れたね」とほめる。 | 6/11 | ○ |
| | | | 6/12 | ○ | レベル3ができた |
| | | | 6/13 | ○ | 〃 |
| | | | 6/14 | ○ | ひとりで 〃 |
| | | | 6/17 | ○ | 写真を見て上手に持てた |
| | | | 6/18 | ○ | レベル4ができた |
| | | | 6/19 | ○ | 〃 |
| | | | 6/20 | ○ | レベル5ができた |
| | | | 6/21 | ○ | 〃 |
| | | | 評価日：6月21日(金)16:00 ~ | | |

例② 5種類の紙



例③紙を持つ位置の写真



担任の声：Aくんだけでなくクラスみんながハサミを上手に使えるようになりました。次は、「おはし名人」に取り組みたいです！



思いをことばで伝えよう！ 「今日したあそびは何かな？」

Bくんの姿

- ・折り紙やブロックで飛行機を作るのが得意
- ・友達が遊んでいるのを見ているだけで入っていけない
- ・決められたことはやろうとするが、困った時に助けを求められず泣いている

担任の願い：クラスの中で思いを伝えられるようになってほしい



クラスの様子

- ・年中児 15名
- ・ゆったりと落ち着いている
- ・Bくんのように今日したことを答えられない子が4～5名いる

4点がつくCLM項目：(3)、(5)、(12)、(14)

名前：Bくん (4歳児)

チェック項目 (5) 自分の思いをことばで表現できない

エピソード 帰りの会の時、「今日、何をしたの？」と聞いても答えられない

要因

- ①何を言えばよいか分からない(内容)
- ②言い方が分からない(型)

目標 帰りの会の時、今日したあそびを担当と一緒に一つ言うことができる

| 期間 | 具体的な指導方法 | | 結果・評価 | | |
|------------------|---|--|-------|----|------------------|
| | <クラス環境の整えとクラス全体の支援> | <個別の支援> | 月日 | ○× | 特記事項 |
| 7/1 ～ 7/12 | (朝の会) ・言い方表(例①)とあそびの絵カード(例②)を見せながら、帰りの会での発表の仕方を説明する。 | (帰りの会の前) ・担任は言う内容を一緒に決めておく。 | 7/1 | ○ | 横で言い方を教えてもらい言えた |
| 2W 10回 | (帰りの会) ・担任は、言い方の見本を見せる。 ・グループごとに前に呼び、絵カードを選ばせ、順番に発表させる。 ・発表の後は、拍手をさせる。 ・全員が発表した後に花丸カードでほめる。 | (帰りの会の前) ・2グループ目の2番目に発表させる。 ・言えない時は横で言い方を伝える。 ・OKサインでほめる。 | 7/2 | ○ | 〃 |
| | | | 7/3 | ○ | 拍手してもらおうと笑顔になる |
| | | | 7/4 | ○ | 自らカードを選んだ |
| | | | 7/5 | ○ | 〃 |
| | | | 7/8 | ○ | 言い方表を見て一人で言えた |
| | | | 7/9 | ○ | 〃 |
| | | | 7/10 | ○ | 〃 |
| | | | 7/11 | ○ | 言い方表を見なくても一人で言えた |
| | | | 7/12 | ○ | 〃 |

評価日：7月12日(金)16:00～

例① 言い方表

例② あそびの絵カード

わたしは



をしました

■の中に磁石で絵カードを貼り付けます。



担任の声：Bくんはおやつ時には「ぼく、〇〇が好き」と好きなお菓子を教えてくださいました！





金井センター長

「CLMと個別の指導計画」を 主治医も おすすめします

新たに
スタート

「CLMと個別の指導計画」は、当センターの治療・療育の支援方法を保育所・幼稚園等で実践するためのものであり、「集団活動に参加できるようになった」「友だちとのトラブルが減った」等、子どもの成長・発達につながった事例がたくさんあります。

毎日生活する保育所・幼稚園等で発達を支援するために、受診時に主治医から説明し、保護者の申込を受けて、当センターと保育所・幼稚園、市町の子ども支援課（アドバイザー、CLMコーチ）と三者が協働して支援します。

| 保育所・幼稚園での支援 申込書 | |
|---|-------|
| <input type="checkbox"/> 保健所・幼稚園、市町の子ども支援課、子どもの発達支援センターが連携して支援し、その情報を共有すること。同意します | |
| 子どもの名前 | |
| 住所 | 〒 |
| 園名 | |
| 申請書日 | 年 月 日 |

保護者の方が申込書の写しを
園に提出されたら、
各市町で支援をお願いします

「CLMと個別の指導計画」 初級プラス研修



「CLMと個別の指導計画」の基礎的な理解を広めるために、圏域ワークショップ（初級研修）を毎年開催しています。直近3年間で、約2800名に受講していただきました。アンケートより、多くの先生方に“知った”“わかった”“簡単（できそう）”とご感想をいただいているとわかりました。

そこで、以前より、要望が高かった『初級プラス研修』を開催します。各保育所・幼稚園等での継続的な実施が可能となるよう、初級以上の力量をもった人材を育成することを目的としています。

*日時：2019年8月6日（火）13:30～16:30

*場所：三重県立子ども心身発達医療センター 講堂

今回の申込は締め切っています

「CLMと個別の指導計画」実践報告会

★12月15日（日）9時30分受付 10時開演
三重県総合文化センター フレンテみえ 多目的ホール

子どもも、保育者も
ハッピーになれる
保育実践の発表会

地域療育支援を紹介します！

地域療育支援は、主に肢体不自由児（者）にかかわる関係機関の方々からのご相談を通じて、どのように対応したらお子さんたちが地域で快適に過ごすことができるのかなどと一緒に考え、職員さんたちのスキルアップ支援をはかる事業です。

対応する職員は、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）です。

今年度契約しているのは、児童発達支援センター等子どもの発達支援施設、生活介護施設、病院、鳥羽・志摩、紀北、紀南地域の施設、市町の福祉やこども支援担当部署、圏域の相談支援事業所です。また、学校研修として特別支援学校へも行っていきます。

肢体不自由児にかかわるための基礎講座を行いました

年度初め、4～5月に恒例の「肢体不自由児にかかわるための基礎講座」を行いました。

肢体不自由児にかかわるためにぜひ知っておいてほしいことを医師、PT、OT、STがそれぞれ講義をし、各回約80名の参加がありました。

今年度の研修会等の予定

☆第2回小児整形・児童精神合同研修会

7月30日（火）10:30～16:15

三重県総合文化センター 文化会館中ホール

10:30～「重度障害児者のスポーツの可能性」

講師：加地信幸（広島文化学園大学 講師）

13:30～「ネット依存への対応」

講師：樋口進（国立病院機構久里浜医療センター 院長）

加地先生は広島で「アダプテッド・スポーツ」（障害の種類や状態に適合させたスポーツ）の活動を2007年から行っています。子どもたちが主役になって「楽しく！笑顔で！」スポーツを楽しんでいる活動についてご講演いただきます。

樋口先生は今話題のネット依存について、どのように対応するのかといった最新の医療についてご講演いただきます。

☆プチプチ学会 8月3日（土）9:30～12:00 当センター講堂



令和元年（2019年）7月26日

<発行>三重県立子ども心身発達医療センター 発達総合支援部 地域支援課

〒514-0125 三重県津市大里窪田町340番5 TEL:059-253-2000 FAX:059-253-2029

MAIL: childc@pref.mie.jp URL: <http://www.pref.mie.lg.jp/CHILDC/>